

III 業務報告

1 業務概要

1. 1 環境保健部

平成26年度は、調査研究の企画・調整業務、環境管理業務、公共用水域水質測定結果管理システムの運用業務、当センター業務に係る研修・広報、水質環境管理に関する調査研究等を行った。

1. 1. 1 調査研究に関する企画・調整業務

当センターで行う調査研究を効率的かつ的確に行うため、鹿兒島県環境保健センター調査研究実施要綱に基づき、所内に調査研究管理委員会を設け、調査研究課題の選定、進捗状況の管理、研究成果の評価等を行った。

また、鹿兒島県環境保健センター調査研究評価要綱に基づき、当センターの調査研究課題に関係がある行政担当者で構成する調査研究内部評価委員会、及び外部有識者で構成する調査研究外部評価委員会を開催し、調査研究の効率的かつ効果的な実施、活性化及び透明性の確保を図った（詳細は、2.3を参照）。

1. 1. 2 環境管理業務

本県内の湖沼や閉鎖性海域については、富栄養化等による水質汚濁の進行が懸念されており、特に、主要な水域である鹿兒島湾と池田湖については、水質汚濁の要因を明らかにし、総合的な水質保全対策を講ずる必要性から、それぞれの水質環境管理計画が策定されている。

平成26年度は、これらの計画の推進に資するため、基礎資料として環境関連のデータの収集・整理・解析を行うとともに、国や関係機関へデータ等を提供した。

また、国や他自治体等の水質汚濁に関する各種情報の収集を行った。

1. 1. 3 公共用水域水質測定結果管理システムの運用業務

平成26年9月まで、「環境保健ナレッジシステム」及び「公共用水域水質測定結果管理システム」を、サーバと城南庁舎及び錦江庁舎の業務用PCで構成した「環境保健情報処理システム」として運用管理してきた。

環境保健ナレッジシステムでは、環境保健情報の効果的な共有及び一元的管理、各種報告の統計・解析の他、環境監視、環境管理など環境行政の各種施策の支援等を行ってきたが、平成26年10月に当該システムを廃止し、公共用水域水質測定結果管理システムのみサーバの更新を行った（図1）。

また、本システムを用いて、公共用水域の水質測定結果のデータベース化による蓄積・管理、調査研究等へのデータ提供を行った。

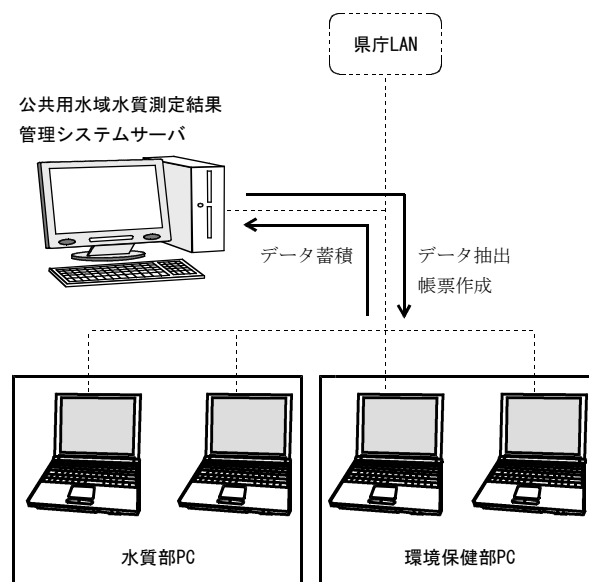


図1 公共用水域水質測定結果管理システムの概要

1. 1. 4 研修・広報業務

当センターでは、一般県民等を対象とした環境保全及び保健衛生に関する学習、研修及び広報を実施している。

研修生及び来訪者に対し、大気テレメータシステムで収集したデータの表示装置や各種パネルなどを使用して、当センターの業務、本県の環境の現況等について研修・広報を行うとともに、県のホームページ上で当センターの業務についての広報を行った。

また、学生に職業意識の向上のための機会を提供するとともに、学生の行政に対する理解を深めることを目的としてインターンシップ学生の募集、受入を行った。

1. 1. 5 水質管理等に関する調査研究

平成26年度は、鹿兒島湾流入河川の汚濁負荷等に関する調査研究を行った。